

特定非営利活動法人
日本健康太極拳協会
神奈川県支部
(楊名時^{八段錦}太極拳^{友好会})

浜太極

師家・楊名時先生 揮毫

第37号

発行人 神奈川県支部 支部長 久保田 博子

2020年8月15日発行



神奈川県支部 支部長の挨拶

神奈川県支部
支部長 久保田博子

行動自粛を！

今年度は、新型コロナウイルスの流行で今まで経験したことのない事態が起きました。「まだまだ気を緩めず行動自粛を！」と自戒しつつも、花が咲き新緑の生き生きとした生命力の輝きに、深い憂鬱がほっと和むのを感じました。この事態に際し五十嵐顧問は、「B29以上に怖いよ」とメールを送って下さいました。また、私の恩師江成師範は、「戦時中よりも気持ちが暗くなるわ。コロナは、人と集まれないからもっと怖い」とおっしゃっていました。

教室閉鎖、会議場所閉鎖、どこへも行けない、どこにも集まれない状態になりました。四面楚歌とは、このような状態でしょうか？

ある支部会員の方が「教室がお休みなので、家や庭や近くの公園で一人で太極拳をなさっている方も多いようです。私もその一人です。第六段錦で見上げる空は本当に高く、第八段錦で見つける草や花や虫はいつもどおりそこにあります。まるで何事も起きていないようで、ただ人間だけが何やら大騒ぎをしているんだと感じます。人とお話をしない分、周りの自然と自分の太極拳に心が向き、今まで私はうわべだけの太極拳をしていたのだなあと思いました。今でもやはりう

わべだと思いますが……」と近況を伝えて下さいました。

そうです。私たちは、太極拳を楽しむことができる日々と、これから先も太極拳を楽しめる未来が欲しいのです。自分の中の健康を大切に仲間を気にかけて暮らしたいのです。災いは、生きている限り、いつでも降りかかることがあるのです。防ぐために生き方を狭めるのではなく、上手に防いで広く大きく生きたいのです。

初めて経験した緊急事態宣言、初めて経験する解除後の with Corona の生活、行動のバブル期をリセットされた中で健康が一番ステキと感じる自分がいます。「健康・友好・平和」を心のゴールとして皆様と共に歩んでいきたいと思えます。

